



市街地と隣接する市町や他地域とを連絡する国道(432号および183号)は「主要幹線道路」です。この道路から市街地への連絡道となり、環状機能を持つ道路(駅前新庄線・駅前線・未納上野線)を「幹線道路」として位置付け、市街地のまちづくりを計画しています。

整備スケジュール

年度	内容
平成 21 年度	測量・土質調査
平成 22 年度	実施設計・土地評価
平成 23 年度	換地設計
平成 24 年度	仮換地指定
平成 25 年度～	建物移転・工事
平成 30 年度	工事
平成 31 年度	換地処分

※換地処分…土地区画整理事法上、換地計画にかかる区域の全部について、従前の宅地などの所有者に対し、土地を割り当てたり、あるいは金銭で清算したりする行政処分

事業概要

- 【施行面積】 22,363㎡
- 【施行区域】 庄原市中本町二丁目、東本町三丁目の各一部
- 【施行期間】 平成21年度～平成31年度
- 【総事業費】 12億8,000万円
- 【公共施設】
 - 駅前広場面積 2,082㎡
 - 都市計画道路2路線 (2車線両側歩道【幅員16m】)
 - 公園・緑地 3カ所

周辺整備計画図



■ 整備完成予想パース



生まれ変わる

備後庄原駅前

土地区画整理事業の工事を開始

都市整備課市街地整備係 ☎0824-73-1173

庄原市の玄関口であるJR備後庄原駅を中心に、駅前広場とそれに接続する幹線道路網の整備や、商業施設などの再生を図り、安全でにぎわいのある都市環境を創出するため、平成31年度完成を目指して土地区画整理事業に着手しています。この事業の経緯や事業概要と今後のスケジュールをお知らせします。

これまでの経緯

この事業は、昭和61年に県立広島大学および国営備北丘陵公園の誘致と併せて計画が持ち上がりました。平成5年に備後庄原駅前から芸備線沿いを西に向かい、国道432号までの区域15.5haを都市計画決定しましたが、その後の社会情勢の変化から、平成11年に事業を一時凍結。その後、区域や事業内容の見直しを行い、平成21年に備後庄原駅周辺の2.2haに区域を縮小して事業を再開し、本年度から本格的に工事を開始します。

整備内容

庄原駅前を公共交通の結節点とするため、交通手段であるJRやバス、タクシーへの乗り継ぎや待ち合いがスムーズに行えるよう、備北交通線のバスセンター機能移転やタクシー・生活バスなどの共同乗り入れを推進するなど計画しています。

画しています。

この土地区画整理事業と合わせて、駅前新庄線(県道中領家庄原線の交差点)駅前交差点と、駅前線(駅前線)線路沿い(国道432号)を2車線両側歩道に整備します。これにより、市街地の幹線道路網を確立し、新道北側地区(西本町)の未開発区域の土地利用促進にもつなげていく計画です。

まちづくり協議会

今年3月、権利者、自治会、市観光協会、商工会議所などで、「庄原駅周辺地区まちづくり協議会」が発足し、駅舎の活用方法や駐車場などの施設整備を含めた駅周辺地区のにぎわいのあるまちづくりについて、検討を進めています。今後は、協議会からの意見や提案を踏まえながら、この駅周辺地区の土地区画整理事業が、市街地全体の活性化につながる拠点づくりとなるよう整備する計画です。



▲現在の備後庄原駅前



▲まちづくり協議会でにぎわい創出を検討